

心臓血管センター 北海道大野病院

ZOOM UP

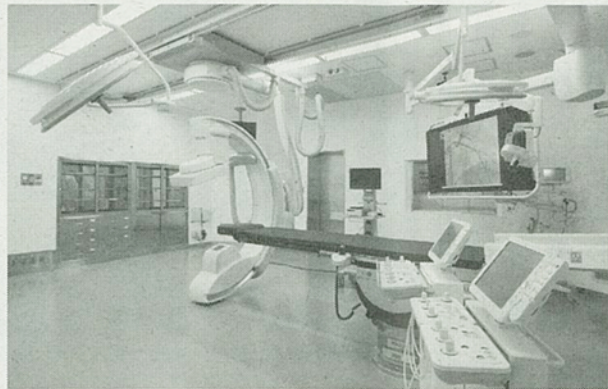


大野猛三院長

循環器科の
山下武廣副院長と心臓血管外科の大川洋平副院長をリーダーに、麻酔科も含め

に力を入れており、「道外からも患者が訪れている」という。

3月からTAVI開始



TAVI実施向け準備したハイブリッド手術室

幅広い診療で地域貢献

開業以来、経験豊富なスタッフと最新設備をそろえ、国内でも有数の心臓病治療症例数を誇る。特に狭心症、弁膜症に対するバイパス手術、弁置換・弁形成術、急性心筋梗塞に対するカテーテルインターベンション治療に力を入れており、「道外からも患者が訪れている」という。

幅広い診療で地域貢献
現在、西宮の沢地区への移転に向けて、新病院を建設中。脳神経外科や整形外科など診療科が増え、がん治療などにも取り組む。「設備も一新し、新たな気持ちで、質の向上に励みたい。」

開業以来、経験豊富なスタッフと最新設備をそろえ、国内でも有数の心臓病治療症例数を誇る。特に狭心症、弁膜症に対するバイパス手術、弁置換・弁形成術、急性心筋梗塞に対するカテーテルインターベンション治療に力を入れており、「道外からも患者が訪れている」という。

た医師、手術看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、事務スタッフからでチームを構成し、3月からTAVIを開始。内科と外科の連携がスムーズ。経験を生かし、独自の手法を開発している。「昨年、70例近い大動脈弁置換術を行ったが、ければ」と意欲的だ。

そのうち20例はTAVIの適応だった。潜在的なニーズは多いはず。現在は指導医の下での実施だが、「当院は、昔から

Data

◇所在地=札幌市西区西野4条1丁目1-30
◇1987年開業 ◇病床数=157床